

ふるさと信州寄付金便り

～平成 25 年度の活用状況に関するご報告～

- 平成 25 年度は、ふるさと信州寄付金として、3,500件 67,344,407円の寄付をいただきました。多くの皆様からのご寄付、ありがとうございました。
いただいた寄付金は、平成 26 年度以降、使途希望に沿って活用させていただきます。

- いただいた寄付金の使途希望別内訳は次のとおりです。

①山を楽しむ皆さんの安全対策	9,175,887円
②観光地の美化や沿道の景観づくり	17,675,854円
③都市農村交流の拡大	3,279,000円
その他	21,944,396円
希望なし（県政一般）	15,269,270円
合計	67,344,407円

- 平成 24 年度のふるさと信州寄付金を活用して平成 25 年度に実施した主な事業のご紹介。

I 山を楽しむ皆さんの安全対策

【寄付金の活用額 4,157千円】

①山岳遭難対策無線機の更新

登山者の安全を確保するため、各地に配備した遭難救助用無線機の中から老朽化の著しい 30 台について、更新しました。

【北アルプス北穂高岳の山頂直下において無線機で交信する夏山常駐パトロール隊員】



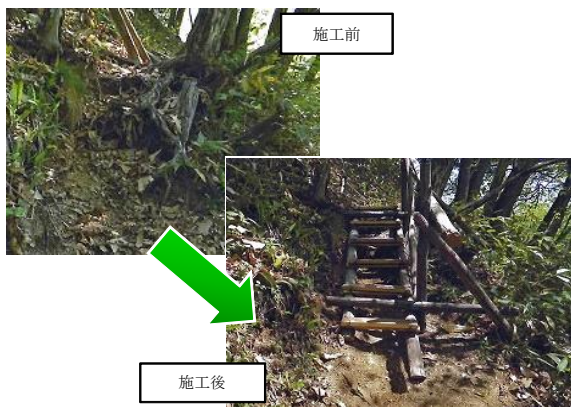
【夏山常駐パトロール隊とは】

夏山シーズンにおける北アルプス一帯の山岳遭難事故防止のため、登山者指導や山岳パトロールを行うとともに、遭難事故発生時の救助活動等を行っています。

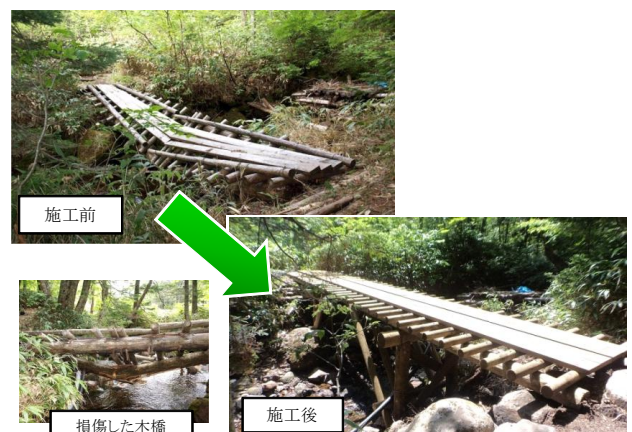
②民間との協働による山岳環境保全事業

山岳環境保全に対する民間企業等からの寄付も活用しながら、自然公園内の登山道等の維持管理、山岳環境保全施設の整備を実施しました。

【登山道補修（大町市餓鬼岳）】（木階段設置）



【登山道補修（松本市乗鞍岳）】（木橋改修）



Ⅱ 観光地の美化や沿道の景観づくり

【寄付金の活用額 1,196千円】

○アダプトシステム（信州ふるさとの道ふれあい事業）

地域住民団体や企業、学校がボランティアで行う道路の美化活動に対して、用具等の支給・貸与、花苗等の支給などの支援を行いました。

【上田市 ガールスカウト長野県第25団による道路美化活動】



【アダプトシステムとは】

長野県が管理する道路において、県・里親（地域住民団体、企業、学校等）・市町村の三者により協定を締結し、里親がボランティアで行う道路の美化活動に対して、県が支援し、市町村が協力することで、道路管理の向上及び地域住民の交流促進を図る事業です。



長野県
観光PR用キャラクター
“アルクマ”

Ⅲ 都市農村交流の拡大

【寄付金の活用額 556千円】

○「国際青少年交流農村宣言」推進事業

国際青少年交流農村づくり推進のため、農村体験のメニューや農村交流の事例などを紹介したパンフレットを作成し、PRを行いました。



- ・長野県は、世界中から積極的に「農村体験」として若者を受け入れています。
- ・農村体験のメニュー等を紹介するパンフレットを作成し、旅行会社や教育関係者等へ取組のPRを行いました。

○ その他の活用事業

【寄付金の活用額 4,597千円】

「県有林の整備」、「福祉・医療の充実」などに活用しました。

【本郷県有林の間伐等整備】

【県有林の整備】 ○松本市 本郷県有林の森林整備

・本郷県有林のカラマツ林、ヒノキ林、ストロブマツ林の間伐を実施しました。

【医療・福祉の充実】 ○タブレット端末を利用した自立活動支援事業など

・コミュニケーションの困難な重度重複障害の児童生徒の自立活動支援事業において、個別指導に活用するタブレット端末を購入しました。

その他、障がい者の機能訓練等に活用するトレーニング機器の更新などにも活用しました。

間伐前



【タブレット端末の活用】

文を作る学習



小学校との交流



【障がい者トレーニング機器の購入】



ヒノキ間伐後

